

新年を祝う恒例行事

判官太鼓・隆盛みこし・餅まき



1月1日午前0時、身を切るような寒さの中、氷川神社の境内では、新冠判官太鼓保存会による力強い演奏にのせ、はんでん姿の氷川若衆会による隆盛みこしが練り歩きました。
その後は、一年間の無病息災、事業繁栄を祈り餅まきが行われ、約300名の参拝客とともに、盛大に新年を祝いました。

こたにがわ学園の人の駅

初めての百人一首交流会



1月3日、こたにがわ学園内の人の駅・カフェ・わかぞうで百人一首交流会が初めて開かれ、地域住民ら13名が、熱戦を繰り広げました。
カフェでは、地域住民が集う場所になりたいと定期的に各種交流会やコンサート、冬のグラウンドで遊ぶイベントなどを企画しており、関係者は気軽に参加して楽しんで欲しいと話していました。

交通安全推進委員会交通安全祈願祭 死亡事故ゼロの継続を祈願



1月7日、氷川神社で新冠交通安全推進委員会（本間國男会長）主催の交通安全祈願祭が行われ、関係者ら31名が参列しました。
本間会長は、「交通安全の取り組みの成果が出て、死亡事故ゼロで新年を迎えることができました。今後も死亡事故が起きないように、関係機関、地域住民と協力して取り組んでいきたい」と挨拶しました。

町内各地でまちかどミーティング 年明け最初は節婦自治会



1月9日、節婦生活館で、節婦自治会とのまちかどミーティングが開かれ、約50名の地区住民が集まりました。
会は、午後6時に始まり、小竹町長からの挨拶の後、いくつかの質問と回答のやり取りを行い進行了しました。
最後は、町の保健師から健康診断の案内と「お酒の飲み方」についての話があり、会は45分で終了しました。

少年国内研修交流事業

沖縄県を訪問



1月6日から9日までの4日間、教育委員会が主催する少年国内研修交流事業が行われ、町内の小学6年から中学1年の19名が沖縄県を訪れました。
この事業は、将来のリーダーになる子どもたちの育成を目的に行われており、参加した子どもたちは、首里城やひめゆりの塔、美ら海水族館などを見学したり、金武町中川区子ども会の方々と交流をしたりしました。
参加者は現地での研修以外にも、事前研修や事後研修など約4カ月にわたり取り組みを続けおり、2月26日には、レコード館シアターでこれまでの成果を発表する報告会を行います。

その2

ま ち の
話 題
あ れ こ れ

がんばれ3年生

冬休み中の勉強会



冬休み期間中、新冠中学校では、全学年で学習のサポートのための勉強会が開かれ、受験を間近に控えた3年生の教室には、多くの生徒が集まり、自主学習をしていました。



中学校では、これまでも長期の休みに合わせて勉強会を開いてきましたが、今年には特に希望者が多く、毎日40名ほどが参加しました。
子どもたちは、分からない問題を先生に聞いたりしながら、受験に向けて最後の追い込みをしていました。

放課後子ども教室・児童館

冬休み特別教室「カルタ教室」



1月16日、町民センターで、教育委員会主催のカルタ教室が開かれ、小学生や新冠町カルタ同好会のメンバーなど18名が参加しました。
教室では、二つの会場に分かれ「百人一首」と「ふるさとカルタ」が行われ、百人一首の会場では、大人も子どもも入り交じり3人一組でチームを作り、真剣勝負を繰り広げていました。

警察と連携・振り込め詐欺を防げ！

町長宅に迷惑電話チェッカー設置



1月19日、静内警察署は町長宅に振り込め詐欺対策などに効果が期待される迷惑電話チェッカーを設置しました。
この機械は、迷惑電話番号リストに登録された電話から着信があった場合に、音声と赤色のランプで注意を呼びかける仕組みになっており、警察では、一軒でも多くの家庭にこの機械を設置したいと、現在、希望者を募っています。

煙の中を避難！

火災を想定した避難訓練



1月26日、認定こども園ドレ・ミで、煙の中を避難する状況を想定し、避難訓練が行われました。
訓練では、日高中部消防組合新冠支署と連携し人工的に煙を発生させ、クラスごとに部屋の中を一周しました。
子どもたちは、口に手を当てながら一列になって避難をし、逃げる時の注意点を確認していました。

一日限定ランチ会 地元食材が美味しいイタリア料理に



1月27日、太陽の森ダイヤモンド美術館で、イタリア在住の日本人シェフ田中祥子さんによる一日限定ランチ会が開かれ、会場は45名のお客さんで満席となりました。
これは、地域の子育てサークル「森で遊ぼう会・はるにれ」が企画したもので、美宇・太陽地区で採れた食材を使用した新冠ならではのイタリア料理が振る舞われました。